

# 『認知社会学の構想』について

社会科学基礎論研究会 2006年12月16日  
於大正大学 片桐雅隆（千葉大文学部）

## はじめに「シンボリック相互行為(作用)論の刷新」について—個人的な研究史

- 1) シンボリック相互行為論との出会い  
主体主義でなくパースペクティブ論への関心→現象学的社会学との接点  
シブタニ、ミードのパースペクティブ論
- 2) 現象学的社会学（シュッツなど）やエスノメソドロジーとの対話  
エスノメソドロジーのシンボリック相互行為論批判  
役割取得論（＝規範の内面化）、主体的な自己の前提（＝解釈主体、役割の創出としての役割形成）への批判
- 3) シンボリック相互行為論への視点
  - ①主体主義、構造主義から構築主義へ  
ブルーマー、ゴフマン、ストラウス
  - ②シンボリック相互行為論の展開への2つの視点  
役割論再考（〔Ⅰ〕）と時間論の導入（〔Ⅱ〕、〔Ⅲ〕）

## 〔Ⅰ〕 役割論の転換—シンボリック相互行為論の展開の手掛かりとして

- 1) 役割と人格(person)の2分法
  - ①機能主義的な役割論—システムに内属する役割と人格の2分法  
役割の既定性—遵守・社会化と逸脱・制裁  
役割とそれから降りる人格
  - ②心理学的な自己観  
外面としての役割、内面としてのパーソナリティ・動機など
- 2) ブルーマーのシンボリック相互行為論
  - ①還元論批判  
社会学要因（役割や規範など）や心理学的要因（パーソナリティなど）への行為の還元論への批判→解釈による行為
  - ②役割の創出過程としての役割形成→2分法への循環
- 3) カテゴリーとしての役割という見方へ
  - ①カテゴリーとしての役割—自己を構築する様々な語彙  
ストラウスの名前論、マッコールらの役割カテゴリー論  
語彙の1つとしての役割カテゴリー
  - ②動機や感情の語彙—内面と外面の2分法への再考
- 4) カテゴリーの相互付与としての役割取得
  - ①カテゴリー使用の状況依存性—親密性と匿名性、私的と公的空間

役割重要性(salience)論、レリヴァンス論

②役割形成論再考

**【II】 自己の同一性(アイデンティティ)論**

1) 自己論への関心

現象学的社会学、エスノメソドロジーにおける自己論の不在あるいはその同一性の否定

主体性論と同一性論

シンボリック相互行為論の自己論の意義

2) 自己の同一性問題ー自己論の争点として

①過去の自己と現在の自己との関連づけ

同一性の本質主義と構築主義

②近代的自己とポストモダンの自己論

同一的な自己と多元的で状況依存的な自己

③シンボリック相互行為論や現象学的社会学の個人誌論との接点

3) 同一性論と個人誌論

①個人誌論の系譜ーシンボリック相互行為論、現象学的社会学、構築主義

②個人誌の事実性と構築性

バーガーの個人誌論ー現在の観点からの再構築

③個人誌の単一性と複数性

ゴフマンの個人誌論とスティグマ論ー単一であることの自明視

④個人誌論と物語論の共通性

時間的に前後する数の出来事を特定の文脈での関連づける行為

4) カテゴリー化による物語の形成

①カテゴリー化による個人誌の形成

記憶論、動機論とカテゴリー論の結びつけ

動機の推論→物語の形成

②ガーフィンケルのアグネス論ーカテゴリー化による物語の形成の事例として

**【III】 集合体の同一性論**

1) 集合体論への問い

相互行為の場面を超えた集合体現象をどう見るか

ブルーマーの joint action 論との関連

解釈に入り込む限りで意味をもつ社会構造という見方

現場性にこだわるエスノメソドロジーー集合体あるいはその同一性の否定

2) 集合的な過去の構築

①集合的過去とは

集合的記憶ー語り継がれた知識、用具や建物、行事や記念碑などによって想起される

歴史－専門家による過去の記述

②集合的過去の構築

歴史の構築性－歴史実証主義と歴史の構築主義

集合的記憶の構築性－記憶の枠組としての集団（アルヴァックス）

3) カテゴリー化による集合体の同一性の構築

①カテゴリー化による集合体の構築

カテゴリーとは－カテゴリーの包括性と階層性

自己カテゴリー化論の見方

パーソン・集合体の成員・人間というカテゴリー

②カテゴリー化による集合体の同一性の構築

自己の同一性との違い－世代の問題、経験を超えた過去の物語化

自己の同一性から集合体の同一性へ

カテゴリー化による世代間の違いの同一化

**[IV] 役割論から物語論へ－役割論と同一性論の結びつき**

①自己物語の共有による集合的同一性の形成－自己の同一性と集合体の同一性

物語の共有とは－「われわれ主体」はあるのか

自己物語のリソースとしての集合体の物語

②物語の相互付与

役割から物語へ

過去からの一貫性を求められる役割

役割の相互付与から物語の相互付与へ

集合体の物語の相互付与

具体的な相互行為場面で形成される集合体とその同一性

ブルーマーの joint action 論との関連

**おわりに)現代社会と認知社会学あるいはシンボリック相互行為論**

現実構築の現場性

カテゴリー化の非自明性